

令和4年第6回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和4年5月26日（木）

午後1時30分～

場 所 エスパーク★にかほ

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第34号 にかほ市立小中学校関係者評価委員会委員の委嘱について
- 第 3 議案第35号 にかほ市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
- 第 4 議案第36号 にかほ市教育支援委員会委員の任命について
- 第 5 議案第37号 にかほ市通学路安全推進会議委員の委嘱について
- 第 6 議案第38号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会委員の委嘱について
- 第 7 議案第39号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 第 8 報 告

令和4年5月26日招集

令和4年第6回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和4年第6回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和4年5月26日 木曜日
2. 場 所 エスパーク☆にかほ
3. 開 会 午後 1時30分
4. 閉 会 午後 2時34分

5. 出席委員 教育長 齋藤 光 正
委員 佐々木 郁 子
委員 佐藤 道 彦
委員 小松 雅 子
委員 伊藤 知

6. 説明のための出席者

教育次長	畠山 真姫子
教育総務課長	今野 和彦
学校教育課長	菱刈 宏記
学校教育課副主幹	佐藤 義明
生涯学習課長	山田 高
仁賀保公民館長	三浦 晶子
象潟公民館長	佐々木 美和
フェライト子ども科学館長	佐々木 和則
白瀬南極探検隊記念館長	佐々木 孝人
文化財保護課長	鎌田 昭義

7. 書 記 教育総務課副主幹 佐々木 真紀子

8. 会議に付した議案

- 議案第34号 にかほ市立小中学校関係者評価委員会委員の委嘱について
議案第35号 にかほ市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
議案第36号 にかほ市教育支援委員会委員の任命について
議案第37号 にかほ市通学路安全推進会議委員の委嘱について
議案第38号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会委員の委嘱について
議案第39号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

9. 可決した議案

- 議案第 34 号 にかほ市立小中学校関係者評価委員会委員の委嘱について
議案第 35 号 にかほ市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
議案第 36 号 にかほ市教育支援委員会委員の任命について
議案第 37 号 にかほ市通学路安全推進会議委員の委嘱について
議案第 38 号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会委員の委嘱について
議案第 39 号 令和 4 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

1 0. その他の確認事項

- (1) 令和 4 年第 7 回教育委員会は令和 4 年 6 月 27 日（月）午後 1 時 30 分から象潟公民館で開催することにした。

1 1. 会議の要旨

【開会 午後 1 時 30 分】

【教育長】

ただいまから第 6 回にかほ市教育委員会を開催いたします。本日の会議の出席委員は 5 名であります。では議事日程の第 1 会議録署名委員の指名を行います。委員は佐々木委員さんと佐藤委員さんをお願いします。書記には事務局の佐々木副主幹を指名いたします。それでは日程の第 2 議案第 34 号 にかほ市立小中学校関係者評価委員会委員の委嘱から、日程の第 6 議案第 38 号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会委員の委嘱についてまで、委員の委嘱並びに任命ですので、一括で議題といたします。委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、学校教育課長から、順に説明をお願いいたします。

(学校教育課長 説明)

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

議案の第 34 号から第 37 号までは、人事異動による変更が加わったものです。ただし、第 38 号に関しましては、課長が申し上げたとおり、策定要綱に基づいて選任した

ものと捉えておりますが、委員の皆さん、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

再度、委員名簿に目を通していただいでよろしいでしょうか。議案第38号の12番今野さんは、由利本荘市出身で象潟町本郷に移住された方だそうです。それでは異議が無いものとして議案どおりに承認することといたします。

【教育長】

次に、議案第39号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について、議題といたします。

(学校教育課長・学校教育課副主幹 説明)

【伊藤委員】

準要保護認定の件は、他市では教育委員会に諮っていないので、今後、当市でも諮らないと言うことでしたが、きちんと説明を受け議論をさせてもらいたかったです。それが、教育委員に任命された使命だと思います。これから、事務方のみで決定するのであれば、所得判定の考え方も見直す必要があるのではないのでしょうか。

【教育長】

まずは、認定に関しては、問題ないということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

議案第39号については、1件を認定することに決定いたしました。

審査の件ですが、就学援助は公費です。なんらかの形でチェック機能が必要です。事務方の範囲のなかでよいのかというのが伊藤委員の考え方です。他市が教育委員会に諮っていないからという決定報告ではなく、方針として教育委員会に諮り、さまざまな意見が出され、承認されていく捉え方が大事だと思います。もう一度検討していきたいと考えます。小松委員はいかがですか。

【小松委員】

件数的には、他市より少ないですね。判定するにあたり、私たちにあまり負担はかかっていないと思うのですが、前任者の皆さんを見ていると、資料作成等おひとりでやられていて大変そうだと見ていました。さらに、判定を担当者だけでやるとすれば、私

たちはいいのですが、よくわかる方たちと話し合っただけ進めていただければと思います。

【佐々木委員】

事務的に淡々と進めるのではなく、教育長をはじめ協議されることと思います。以前、医療費についてどれくらいかかっているかの質問に答えられなかったことがありました。細かいことですが、状況を把握して進めていただければと考えます。

【佐藤委員】

事務方のほうで、判定するとなれば判定基準すれすれであっても、割り切るようになると思います。他市で教育委員会に諮っていないからということでしたが、それしか理由がないのかと。事務方でやるもっと大きな理由がないのでしょうか。判定基準が不透明になっているのかなと感じますし、第三者の意見が加わって決めていくことが必要かと思えます。事務方だけでは判断できない状況もあるのではと危惧しています。

【教育長】

にかほ市は豊かで、準要保護も少ないです。他市は、あまりにも認定数が多くて教育委員の負担が大きいため、教育委員会に諮っていないという捉え方があるかもしれません。地域のことなど、事務方ではわからないことが多くありますので、各委員のそれぞれの専門的な立場から積極的な関わりに心から感謝します。学校教育課長のほうで、白紙に戻して、今までと同じように総合的な視点から議論し、教育委員会の承認のもと、家庭の状況をみながら認定していきたいと思えます。委員の皆さん、よろしく願います。

【伊藤委員】

事務方だけでいこうという意見、考え方がでてきたというのは、さきほど担当が説明したとおり、他市が事務方だけでやっているからというだけの理由でしょうか。

【学校教育課長】

準要保護については、確かに件数は少ないのですが、いろいろな事務の負担がかかってきていまして、きちんと基準があるのであれば、それに乗っ取って判定できればなど考えました。ただ、教育委員の皆さんに意見をお伺いするのは当然ですし、お詫びしたいと思えます。たいへん申し訳ありませんでした。

【伊藤委員】

負担がかかるというのは、教育委員会に諮ることが負担だということでしょうか。

【学校教育課長】

教育委員会に諮ることが負担ということではありません。

【伊藤委員】

教育委員会に諮るのが負担というふうに聞こえます。

【学校教育課 副主幹】

病気等に対する質問を受けることもあるので、申請時、いろいろ聞き取りを行います。明確な認定基準がありますので、私的な情報に対しては不機嫌になられる方もいます。

【伊藤委員】

公費を出す以上、個人情報に関する聞き取りも必要と思います。

私が心配しているのは、判定基準より、ほんの少し上回り、認定不可になった場合、事務方が決めたとなるので、事務方への攻撃材料になり得ます。教育委員会に諮った結果なら、教育委員が防波堤になればいいと思っています。病気の内容については、事務方で詳細は考慮してもよいでしょう。教育委員会に諮るということは、皆さんを守ることにもなるので、討論、検討するこの場が必要であると考えています。

【教育長】

教育委員で検討した場合に、意見、質問がでますが、それはこの場だけの話であって、内容等を公表するわけではありません。申請を受ける際、コミュニケーションをとって、知っておかなければいけないことと思います。きちんと対象者を把握するためにも、教育委員の皆さんの意見を大事にしないといけないと考えます。このことについては、教育委員の意見を聞くという捉え方で、学校教育課長及び事務方でもう一度検討してもらいたいと思います。

【教育次長】

いろいろな審査会の在り方があるのですけれども、介護保険のように国が基準を設けて、1次結果を出し、さらに審査会をして結果を出すものもあります。新しい担当も、いろいろ勉強し、県内の状況を確認して、提案してみたいと申し出がありました。ひとりひとりの状況を配慮しなければならない案件、にかほ市独自の視点も加わるような審査会のやり取りをこの場を通じて行っていくことは、担当も勉強になる機会と思います。今回の件を持ち帰って、審査の在り方を考えたいと思いますので、よろしいでしょうか。

【小松委員】

「こういう基準でやるので大丈夫です。チェックできます」と言うのであれば、よいとは思いますが。

【教育次長】

基準が明確なので、できなくはないのですが、やはり、今まで教育委員会に上がって

きた段階で、いろいろな事例のやり取りがありました。見方、考え方等、現在の状況だけでなく、今後経過を見るだとか、にかほ市の場合、教育委員会での審査は市民にとって、よい形だと思います。例えば、1.2の基準を若干上回っていても、今の状況と一致しない場合もあります。お子さんがいる状況は変わらないので、関係機関と連携しながら対応していかないといけないと考えます。制度を有効に活用していく視点をもう一度確認したいと思います。

【教育長】

教育委員会の在り方として、教育委員とは、あらゆる点で共通理解、情報交換が基本だと思います。なるべく、事務方でやるという捉え方でなくて、例えば、今のコロナでも学校教育課で判断しながらも、教育委員と情報を共有しています。これからも、教育委員との協力体制のもとで進めていきたいと考えます。次長を中心に、学校教育課、担当で、次回まで結論を出してほしいと思います。ほかに、委員の皆さんからありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは日程の第8 報告に入ります。

私から、簡単にお話しします。「子どもにはひたすら愛と情を！」というタイトルでございます。

本市でも、子どもを産む若い女性が少なくなってきております。お母さんたちは、自分の母さん、おばあちゃんや先輩たちから、子育ての指導助言を受けながら、育児に専念している方がほとんどであります。でも、なかには、育児に悩んで、精神的に参っているお母さんも増えているようです。そのために、育児本というのが、書店に行けばたくさんあります。0歳児からどのようにして教材を盛り込んでいけばいいかまで紹介されております。しかし、この詩人の浜さんは、立派なお母さんという捉え方ではなくて、あなたというお母さんを求めている、どんなお母さんも、子どもたちにとっては特別な人なんだと、100点満点のお母さんではなくて、右往左往しながらもがんばる育児の極意を教えているようです。今、いろいろな子どもたちが増えております。精神的に悩んでいたりと、病気を抱えていたりします。にかほ市では、スマイルに複合的な子ども支援施設を設置計画中です。子育てについては、専門的な知識と経験、ノウハウを有している大学との連携、児童相談所、社会福祉法人と連携、協力を得ながら、複合的に子どもを育て、支援していく施設です。これからのお母さんを含めて、子育てについては、複合的に支援施設が必要だという観点から、学校現場並びに、にかほ市全体で育てる意識を高めていきたいものだと考えております。

それでは、教育総務課長から、順に報告をお願いします。

(教育総務課長から順に報告) 各課からの報告は別添、資料参照

【教育長】

各課長から報告がありましたが、委員の皆様から何かありませんか。

【小松委員】

今週末に行われる絆まつりで、釜ヶ台番楽が出演されるということでした。池田修三さんの版画も県立図書館で展示もされますし、どんどんアピールして、多くの方に見に来ていただけるといいなと思います。

【佐々木委員】

館長さんたちからハキハキと説明をいただき、とてもわかりやすかったです。元気な館長さんたちの姿から、市民も元気と思わせていただきました。期待しております。よろしくをお願いします。

【佐藤委員】

教育委員会表彰についてお聞きします。このたび、齋藤さんが表彰されたことは喜ばしいことです。個人的に存じ上げている方なので、ふさわしい方だと思いました。町内会からの推薦とありましたが、推薦がないといけないのか、亡くなった方、現職の方でもよいのでしょうか。また、象潟以外でも見守り活動を行っている方もいらっしゃると思います。表彰基準等周知していただきたいです。教育委員会である程度、現状把握されているか、あわせてお聞かせ願います。

【教育総務課長】

町内会等の推薦は必須ではありません。要綱に沿って、要件に合致しているか、一度事務局側で判断して、教育委員会に諮ります。表彰要件に該当する方を把握しているかという件は、今現在、把握している状況ではありません。

【教育次長】

今回のきっかけは、他課から連絡がありました。自治会長の会議で、「活動を長くされた方がいる。地域の皆さんが感謝している」と話しがあり、何か表彰する機会はないかと相談を受けたそうです。表彰の要件に照らし合わせて、今回の表彰になったものです。

確かに、表彰について、皆さんに紹介する機会がなかったと反省しております。

【教育長】

表彰の規程を教育委員に配布していただければと思います。

これで、全ての審議が終わりましたので、次回の6月の教育委員会ですが、6月27日月曜日、午後1時30分から、象潟公民館で行いたいと思います。よろしくお願

ます。

それでは以上をもちまして第6回にかほ市教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

【閉会 午後2時34分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

齋藤 光正

” 委 員

佐々木 郁子

” 委 員

佐藤 道彦

子どもにはひたすら 愛と情を！

にかほ市教育長 齋藤 光正

最近、育児に悩むお母さんが増えていると聞きます。それに歩調を合わせるかのように、「育児本」があふれ、キッズのための教室、ゼロ歳児からの教材も花盛りのようです。そんな母親たちに、詩人・エッセイストである浜文子さんが「時代に流されたり、情報に振り回されないで」と発信しております。

浜文子さんの詩を紹介します。

赤ちゃん

あわて者でもいい 泣き虫でもいい
手先が不器用でも 音痴でもかまわない
もちろん 人が振り向くほどの美人である必要もない
とりたてて特技がなくても 高尚な趣味も
噂に上るほどの博識も不要
おまけに 学歴 職歴 賞罰 一切不問
そのままのあなたがいい
そのままのあなたが好き
赤ちゃんはそう言いたくて
あなたに両手を伸ばしてくる

※子どもは、育児書に忠実な立派なお母さんなど求めていません。「あなたというお母さん」を求めているのです。子どもは無条件にお母さんを好きです。どんなお母さんも、子どもにとって「特別な人」なんです。

抱きなさい子を

抱きしめなさい子を
育児書を閉じ、子育てセミナーを欠席し、(中略)
抱きしめなさい子を
母の膝が子どもの愁いのすべてを除くその時代に (中略)
もう何もしてやれない日のために
抱きしめる手が子の未来に届くよう
幾度も幾度も、抱きしめなさい
母たちよ
やがて分かれる者として
あなたの子をしっかり胸に抱きなさい

※100点満点のお母さんを目指すのではなく、子どもの側でオロオロしたり、時には、イライラする感情を味わいながら、自力で悩んで考えることを忘れないようにしてほしいです。それこそが「お母さんの王道」であります。育児は「科学」ではなく「文学」です。

教育総務課

1. 5月・6月の発注実績・予定

○金浦小学校空調設備設置工事 ※5/25 随意契約

契約金額：¥1,295,800円

期 間：契約日～令和4年8月31日

内 容：空調機器設備工事（室内機、室外機各1台） 一式

空調配管設備工事 一式

電気設備工事 一式

○金浦中学校（生徒用机・椅子）備品購入 ※6/10 入札

設計金額：¥1,007,600円

納 期：契約日～8月24日

内 容：生徒用机・椅子 30組

2. にかほ市PTA連合会総会（書面審議）

○令和4年度にかほ市PTA連合会役員一覧（裏面参照）

◎令和4年度にかほ市PTA連合会役員一覧

会 長	楢岡一英（平沢小会長）
副 会 長	佐藤佑介（象潟小会長）※研修事業部長兼務
副 会 長	土田寿子（院内小会長）※生活安全事業部部長兼務
副 会 長	石船清隆（仁賀保中会長）※広報事業部部長兼務
会計監査	堀口真喜、須田桂（象潟中副会長）
事 務 局	平沢小学校

◎各単P役員・校長・市P担当者一覧

1 平沢小学校		2 院内小学校	
会 長	楢 岡 一 英	会 長	土 田 寿 子
副 会 長	高 田 敦 樹	副 会 長	西 村 智 久
副 会 長	齋 藤 智 樹	副 会 長	佐々木 芳 恵
副 会 長	山 本 正 樹	副 会 長	桶 高 廣 基
副 会 長 (教頭)	菊 地 良 樹	副 会 長 (教頭)	藤 井 充 晴
校 長	大須賀 博	校 長	阿 部 充 道
市P担当	菊 地 良	市P担当	藤 井 充 晴
3 仁賀保中学校		4 金浦小学校	
会 長	石 船 清 隆	会 長	伊 藤 和 明
副 会 長	阿 部 主 馬	副 会 長	鈴 木 直 子
副 会 長	熊 谷 みどり	副 会 長	伊 藤 学 美
副 会 長	佐 藤 大 樹	副 会 長	伊 藤 弘 貴
副 会 長 (教頭)	安 齋 好 一	副 会 長 (教頭)	阿 部 貴 彦
校 長	阿 部 徳 之	校 長	伊 藤 剛 喜
市P担当	佐 伯 知久夫	市P担当	阿 部 貴 彦
5 金浦中学校		6 象潟小学校	
会 長	佐 藤 玲 子	会 長	佐 藤 佑 介
副 会 長	佐 藤 史 崇	副 会 長	土 方 里 美
副 会 長	佐 藤 陽 子	副 会 長	吉 田 良 介
副 会 長 (教頭)	齋 藤 篤 子	副 会 長	伊 藤 友 紀
校 長	佐 藤 真 二 郎	副 会 長 (教頭)	佐々木 康 健
市P担当	鎌 田 育 子	校 長	佐 藤 健 修
市P担当		市P担当	大須賀
7 象潟中学校			
会 長	横 山 英 弥		
副 会 長	堀 口 真 喜		
副 会 長	須 田 桂 子		
副 会 長 (教頭)	佐々木 史 子		
校 長	村 上 道 夫		
市P担当	斎 藤 勝 信		

学校教育課

1. 事業報告

- 4月23日(土)～24日(日) 本荘由利中学校春季大会
4月26日(火) 教育研究所運営委員会(紙面開催)
5月9日(月) 特別支援教育関係事業等運営委員会
「なかよし宿泊交流会」中止
5月11日(水) 本荘由利校長会 情報教育推進委員会
ICTマイスター任命式
5月12日(木) 金浦中運動会 にかほ市教頭会
5月13日(金) 市PTA連合会総会(紙面開催)
5月15日(日) 平沢小、院内小、金浦小運動会
5月17日(火) 象潟小運動会
5月21日(土) 仁賀保中、象潟中運動会

2. 事業計画

- 5月26日(木) 本荘由利中学校陸上競技大会
6月1日(水) 市校長会
6月2日(木) 特別支援教育関係事業等運営委員会
6月4日(土) 本荘由利小学校陸上競技大会
6月13日(月) 情報教育活性化委員会
6月18日(土)～19日(日) 中学校地区総体
6月22日(水) 情報教育推進委員会
第1回教育支援委員会

※本荘由利中学校春季大会

- 優勝
 - ・サッカー(仁賀保中)
 - ・バレーボール(象潟中)
- 準優勝
 - ・柔道個人2名(金浦中)・男子ソフトテニス団体(象潟中)
 - ・ソフトボール(本荘北・西目・象潟合同チーム)
- 第3位
 - ・女子ソフトテニス団体(仁賀保中)
 - ・バレーボール(仁賀保中)・柔道個人3名(金浦中)
 - ・男子ソフトテニス個人・ペア1組(象潟中)
 - ・女子剣道団体(象潟中)・男子卓球団体(象潟中)

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

4月28日(木)	福寿大学 開講式 講話「このまちに住む人が宝」	39名参加
5月14日(土)	ユニバーサルマナー講座① 「ユニバーサルマナー」とは?	9名参加
5月20日(金)	まんまある 「はじめましての会」	2組4名参加
5月21日(土)	浜っ子クラブ はじめまして&ボードゲーム	12名参加

にかほ夢ギャラリー展示

4月	「心珠会書展」 出展者 心珠会
5月	「手芸サークルやまぼうし作品展」 出展者 手芸サークルやまぼうし

2. 事業計画

5月28日(土)	ユニバーサルマナー講座② バリアフリーマップ「Bmaps」を使って散策してみよう
5月29日(日)	福寿大学 5月授業 開学10周年記念事業① 「にかほ・ひまわり会による民舞鑑賞」
5月31日(火)	合同委員会議
6月4日(土)	浜っ子クラブ 「谷さんのおはなし会」
6月10日(金)	ほんわっカフェ
6月11日(土)	ユニバーサルマナー講座③ ゆるスポーツ×ボードゲームを体験してみよう!
6月16日(木)	まんまある 「心躍る♡アイシングクッキーLesson」

にかほ夢ギャラリー展示

6月	「佐藤 昇 作品展」 出展者 にかほ日本画・水墨画同好会 講師 佐藤 昇
----	--

図 書 館 ・ 仁 賀 保 勤 労 青 少 年 ホ ー ム

1. 事業報告

【図書館】

テーマ展示

仁賀保分館 「原作を読む」

象潟分館 「9割本」

こびあ 「近場 de 楽しむ行楽弁当」

4月22日(土)	ブックスタート事業	2名参加
5月6日(金)	市内3図書館合同会議	
5月14日(土)	おはなし会 読み聞かせボランティア いぶき	8名参加
5月20日(金)	ブックスタート事業	10名参加
5月21日(土)～27日(金)	春のリサイクルブックフェア (市内3図書館同時開催)	

【仁賀保ホーム】

5月11日(水)	オンライン講習会①	2名参加
5月12日(木)	トレーニング室新規利用者講習会	10名参加

2. 事業計画

【図書館】

5月27日(金)	ブックスタート事業	
6月11日(土)	おはなし会 読み聞かせボランティア いぶき	
6月中旬予定	第1回にかほ市図書館協議会	
6月下旬予定	第1回にかほ市読書感想文審査会	

【仁賀保ホーム】

6月2日(木)	トレーニング室新規利用者講習会	
6月8日(水)	オンライン講習会②	
6月23日(木)	ツキイチコンサート	
	○サマージャズナイト2022	
	出演団体：にかほジャズクインティッド	

仁賀保公民館

1. 事業報告

- 4月26日(火) キッズ・まもーる「院内小学校」 参加者 37人
27日(水) キッズ・まもーる「平沢小学校」 参加者 79人
28日(木) にかほ市女性団体協議会総会 参加者 10人
5月18日(水) むらすぎ学園 芸術鑑賞
「絵本と歌の世界を楽しむ」 参加者 38人
20日(金) 公民館講座「ダンスエクササイズ講座」1回目
参加者 21人
21日(土) 公民館講座「にかほ再発見!自然観察会」1回目
～南由利原の大谷地池の散策～ 参加者 21人
- にかほ夢ギャラリー展示
4月 手芸作品「つるし飾り」
出展者 ロマンドールの会
5月 写真「猫の楽園 ～田代島～」
出展者 佐藤 清之氏

2. 事業計画

- 6月 1日(水) 公民館講座「季節を彩る布飾り」1回目
4日(土) 放課後子ども教室「キッズユートリック」1回目
「始まりの会・谷さんのおはなし会」
15日(水) むらすぎ学園「市内施設見学」
17日(金) 公民館講座「ダンスエクササイズ講座」2回目
25日(土) 公民館講座「元気のでる古典講座」1回目

にかほ夢ギャラリー展示

- 6月 写真「自然散歩VII」 出展者 フォト写楽鳥海

象潟公民館

1. 事業報告

- ・ 4月26日(火) 白寿大学開講式 市出前講座「にかほ市の宝物」
55人参加
- ・ 5月9日(月) 絵手紙教室① 7人参加
- ・ 5月21日(土) 友遊くらぶ① 防災すごろくゲーム 14人参加
- ・ 5月21日(土) にかほ再発見！自然観察会（仁賀保公民館と共催）
南由利原の大谷地池の散策 21人参加
- ・ 5月24日(火) 白寿大学5月例会
移動研修 仁賀保高原南展望台 AR体験
53人参加
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 4月 「なごみアート」（パステル画）
出展者 佐藤 里佳
5月 「池田修三誕生100周年記念作品展 春」
出展者 文化財保護課

2. 事業計画

- ・ 6月3日(金) 鳥海山・飛島ジオパーク講座 石沢大滝と屏風岩
- ・ 6月4日(土) 友遊くらぶ② 谷さんのおはなし会
(3公民館子ども教室合同開催)
- ・ 6月8日(水) 俳句教室
- ・ 6月10日(金) イスに座ってできる軽運動①
- ・ 6月24日(金) イスに座ってできる軽運動②
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 6月 「つるし飾り」 出展者 古布の会

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

(1) 新型コロナウイルス対策について(5月)

- ・休館：日、月曜、祝日 ※日曜、祝日はコロナ接種会場の駐車場利用のため休館
但し8日(日)は、コロナ集団接種中止につき開館
- ・入館時間 9:00～11:45、13:00～16:30、館内の換気、消毒のため一時閉館(時間)
- ・館内の人数制限 なし ※状況を見て対応
- ・入館者への依頼事項：入館者の記録票記入、検温、手指消毒、マスク着用等
- ・実験工作教室等：少人数で実施

(2) 入館者数の実績

	R4	R3	前年同期比	説明
4月計	939人	668人	40.6%	
うち4月	939人	668人	40.6%	

※ゴールデンウィーク中の入館者数は、裏面のとおり

(3) 5月の事業実績

- ① 5月13日(金) 令和4年度にかほミュージアム連携協議会総会
- ② 5月24日(火) 第1回にかほ市科学振興委員会
- ③ 5月26日(木) WRO秋田県中央地区予選会実行委員会

2. 事業計画(6月)

- ① 6月11日(土) 実験教室「パタパタチョウ」をつくろう！

マグネット磁石(ボンド磁石で作る工作、「磁石の性質」を学びます。)

○対象：市内小学児童(保護者同伴)、定員6名、講師：山下研究員(TDK退職者)

3. その他

6月以降は、通常どおり(コロナ禍前)日曜日、祝日とも開館(コロナ集団接種一旦終了による。10月まで計画なし)コロナ対策は引き続き変更なし。

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R4年度	R3年度	増減(▲)	説明
4月～	-人	-人	-%	
うち4月	1,159人	846人	37.0%	
5月の状況	・今年のゴールデンウィーク期間(4/29～5/8)は、昨年にくらべ期間も長く(昨年:4/29～5/5)天候に恵まれ、コロナによる地域規制もないため入館者が多かった。(121%増)			

(2) 企画展「大和雪原を越えて～冒険家 阿部雅龍『白瀬ルート』挑戦の記録 2021-2022」

期間：3月22日(火)～7月18日(月) ※開催中

内容：阿部雅龍氏「白瀬ルート」挑戦の記録を写真、映像のほか、冒険で着用したウエア等各種グッズの展示により紹介。白瀬隊による大和雪原到達110周年記念事業。

※「植村直己冒険賞」受賞(令和4年6月4日授賞式)

(3) にかほミュージアム連携協議会総会

期日：5月13日(金) 会場：金浦公民館

案件：役員選出、R3実績・決算報告、R4計画・予算審議等

2. 事業計画

(1) 白瀬南極探検隊運営審議会

日時：6月下旬 場所：金浦公民館(予定)

案件：役員選出、R3実績・決算報告、R4計画予算

令和3年第6回教育委員会【報告資料】

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

○4月28日(木・祝)～5月1日(日) 池田修三木版画展「春のメロディー」

月 日	4/28	4/29	4/30	5/1	計	R3
市内	48	26	49	61	184	162
県内	12	25	55	68	160	252
県外	4	4	7	21	36	6
R4計	64	55	111	150	380	420

※令和3年度は4月29日～5月2日まで4日間の開催

5月12日 郷土史研究会 総会
5月11日～12日 館ヶ森遺跡(金浦)埋蔵文化財分布調査

○ゴールデンウィーク入館者数

・象潟郷土資料館

	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	計
市内	2	2	7	2	1	0	0	0	0	1	15
県内	10	22	31	1	14	34	16	4	9	12	153
県外	13	8	12	1	6	16	6	2	3	2	69
R4計	25	32	50	4	21	50	22	6	12	15	237
R3	18	5	33	46	10	18	13	0	7	7	226

・旧佐々木家住宅

	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	計
R4	33	30	34	57	31	67	61	25	39	53	430
R3	23	14	43	40	54	74	50	34	50	34	416

2. 事業計画

- ・6月4日(土) 池田修三生誕100周年記念企画展 ～暮らしを彩る木版画～
～令和5年5月21日(日)
展示説明会 9:00～ 11:00～
- ・6月7日(火) 獅子ヶ鼻湿原緊急調査委員会
- ・6月16日(木) 秋田県立図書館特別展 ～池田修三とふるさと秋田～
～7月12日(火)
- ・6月17日(金) 仁賀保高校番楽学習(講師:小滝番楽)

池田修三生誕100周年記念企画展～暮らしを彩る木版画～



ギャラリー(2001)

にかほ市象潟町出身の木版画家・池田修三さん(1922～2004)が2022年に生誕100年を迎えました。修三さんが県内の高校教師を辞め木版画家を目指して上京したのは1955年、33歳のときでした。その後82歳で亡くなるまで、子どもを主テーマにさまざまな情景を描き、晩年は風景画も手掛けています。修三さんが描く子どもたちの表情やふるさとの風景は木版画特有の柔らかな色彩と相まって郷愁を誘い、見る人の心をとらえてきました。

市内、特に象潟町の多くの家庭や喫茶店、食堂、本屋などの店舗には修三さんの版画が当たり前のようには飾られています。中には親しい人からのプレゼント、新築や開店、結婚などのお祝いにいただいたという方がたくさんおられます。このように修三さんの木版画は多くの人に愛され、人の心を結びつけ、暮らしに彩(いろどり)を添えてきました。

生誕100年にあたり、自筆のノートや日記、冊子の記事など当時の資料に記された言葉とともに修三さんの人生を振り返り、作品の変遷をたどっていきたいと思います。

●期間

[前期] 令和4年6月4日(土曜日)～10月23日(日曜日)

[後期] 10月28日(火曜日)～令和5年5月21日(日曜日)

秋田県立図書館特別展

池田修三生誕100周年記念作品展「池田修三とふるさと秋田」

令和4年度特別展示として池田修三生誕100周年記念作品展「池田修三とふるさと秋田」を開催します。にかほ市象潟町出身の木版画家池田修三の郷愁あふれる作品は多くの人々に愛され、暮らしに彩りを与えてきました。池田修三の心には常にふるさと秋田があり、その思いが作品に反映されています。2022年の生誕100年を記念し、象潟郷土資料館が所蔵する作品の中からふるさと秋田の情景を描いた作品を中心に紹介します。

◇会場 秋田県立図書館 2階特別展示室、1階ホール

◇期間 2022年6月16日(木)～7月12日(火)

◇展示内容

【2階特別展示室】

- ・秋田に関連する作品30点ほど展示

例：早乙女(添付画像)、鳥海残雪、かまくらの宵(添付画像)、入道岬男鹿、花かげ屋敷町、島かげ象潟、竿灯(添付画像)、県内の高校教師だったころのモノクロ作品など

- ・版木や下絵、スケッチ、池田作品が表紙になった本等を展示

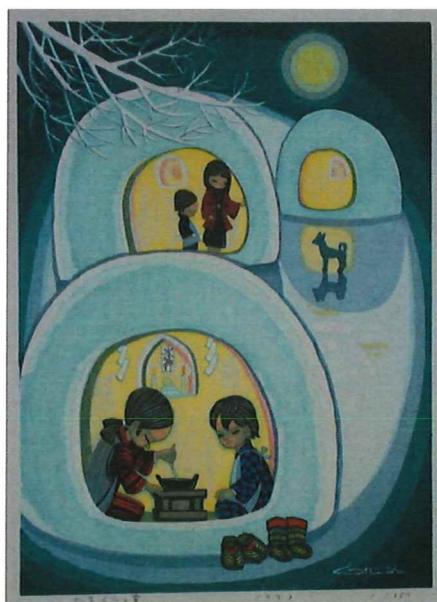
【1階ホール】

- ・池田修三プロフィールや作品紹介のタペストリーの掲示
- ・木版画の制作過程パネルの展示
- ・作品の立ちパネル等の設置

◇共催 にかほ市教育委員会 秋田県立図書館



早乙女



かまくらの宵



竿灯